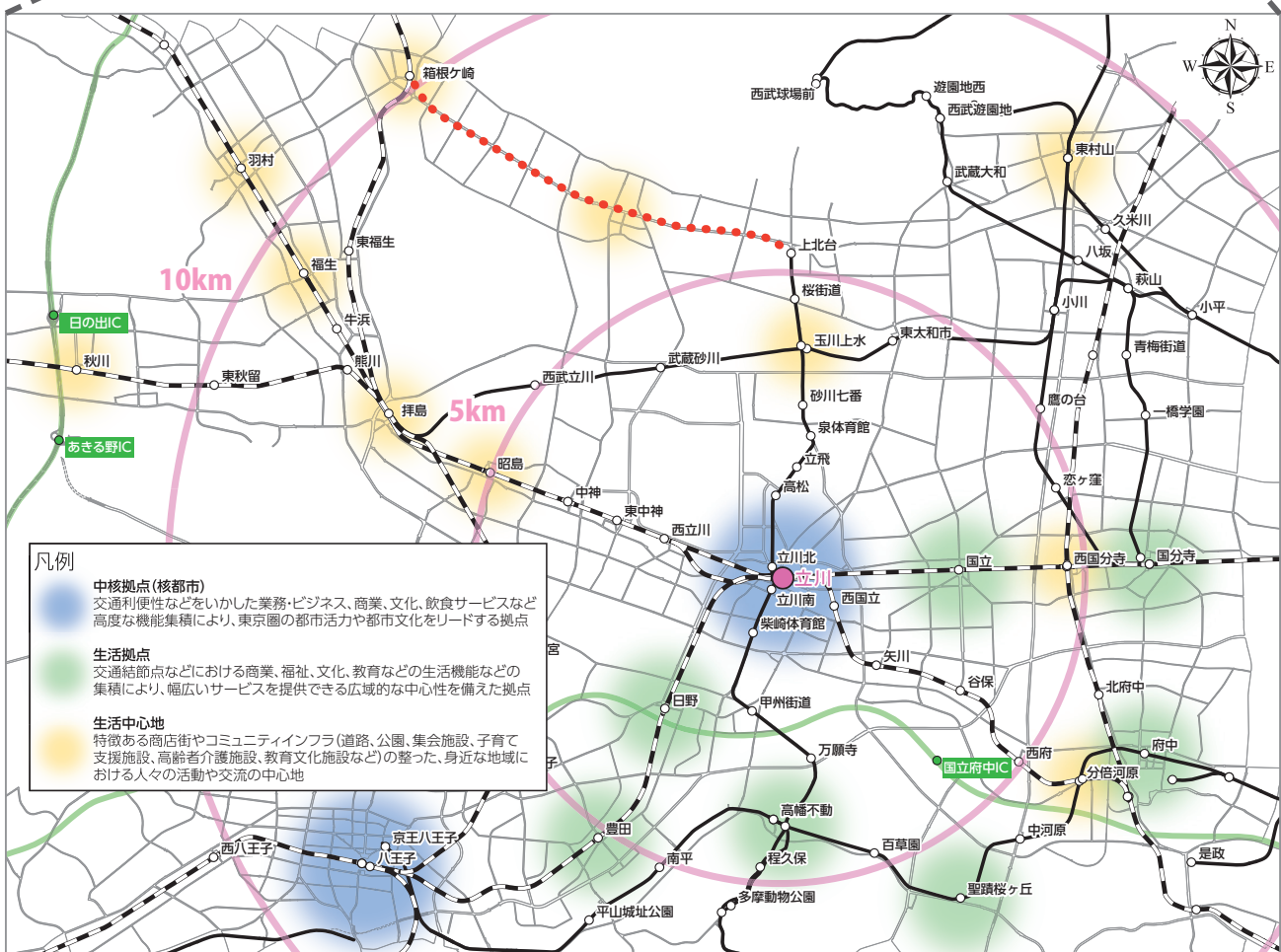
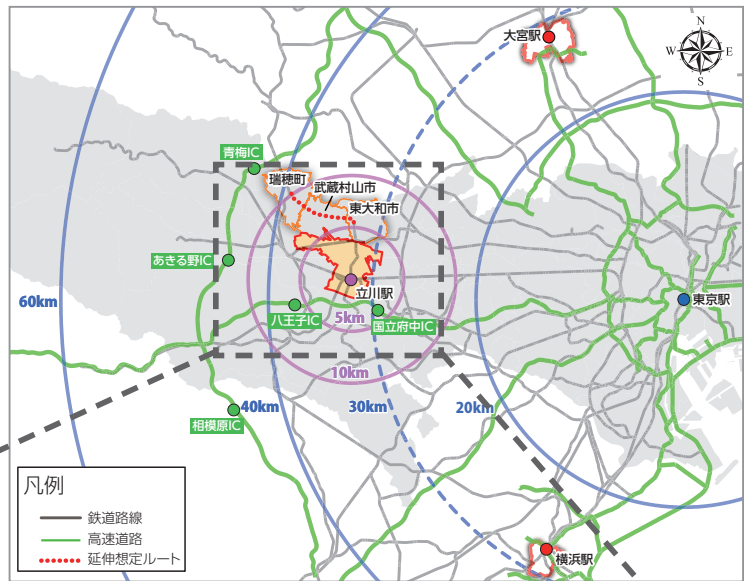


(4) 立地…【中核拠点のある立川市に隣接、周辺部の基盤は充実】

- ・ 東京駅から約30～40kmの距離（大宮駅や横浜駅（都心へ約30分）とほぼ同じ）に位置します。
- ・ 中核拠点のある立川市に隣接しています。
- ・ 鉄道ネットワーク及び圏央道をはじめとする高速道路ネットワークなど周辺部の基盤は一定程度整っています。

図：都心や立川市との位置関係



※中核拠点等は「都市づくりの進展状況に応じて適宜位置付け、育成していく」とされている。
中核拠点等の大きさはイメージであり範囲を示すものではない。

出典：多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成26年12月）

I 構想の概要

II 「モノレール沿線まちづくり」とは

III 現況と課題

IV 課題解決に向けた対応方針

V 対応方針を踏まえた施策の方向性

VI 構想の実現に向けた施策の実施時期

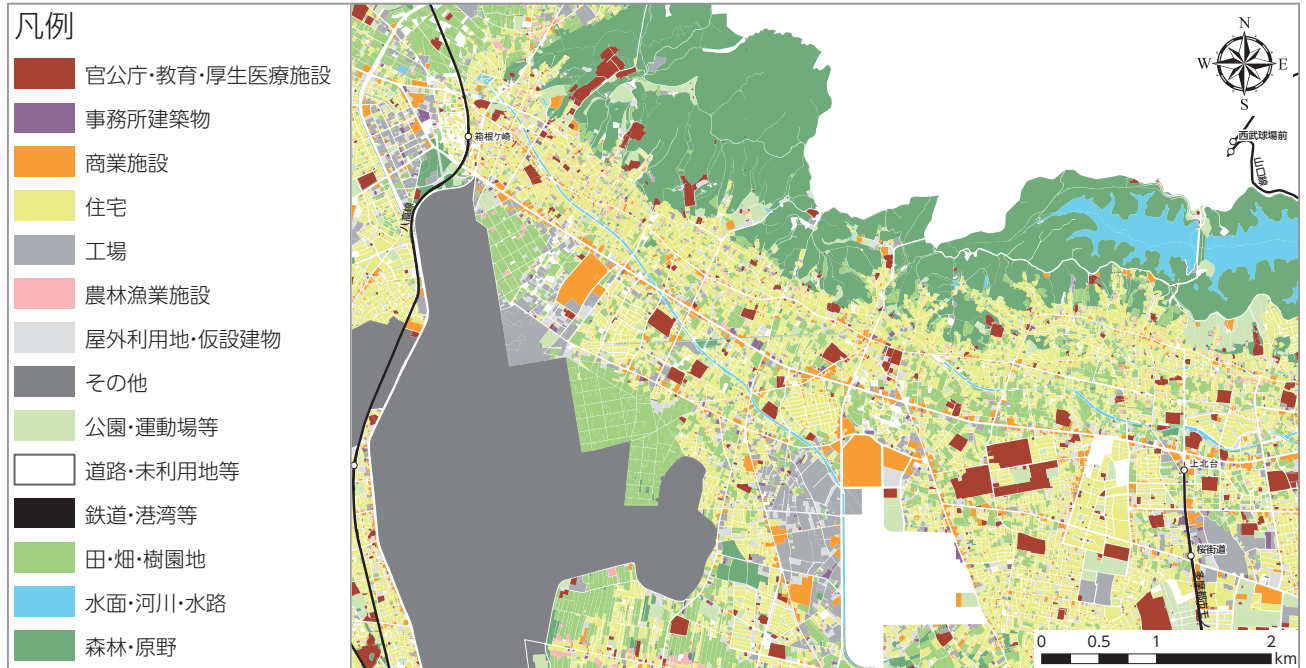
VII 施策の展開

VIII 今後の取組

(5) 土地利用…【低未利用地の存在、指定容積率が低い】

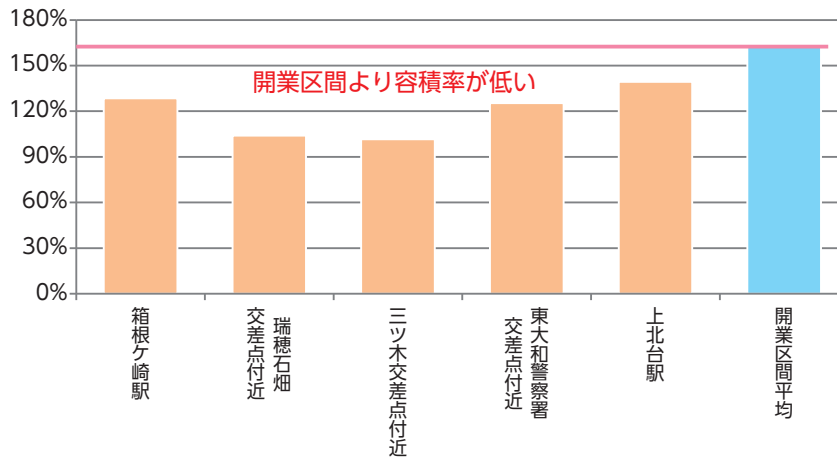
- ・沿線の土地利用については、住宅系や農地系の土地利用が多く、また、大規模商業施設が複数立地しています。
- ・新青梅街道沿道を中心に低未利用地があり、指定容積率が低く、土地の高度利用の余地があると言えます。

図：土地利用の現況



出典：東京都土地利用現況調査（平成24年）

図：指定容積率の比較



※各地点は各市町の代表的な一地点（各地点半径750m範囲のもの）

※開業区間平均は立川駅以北（立川北駅を除く）を対象

出典：東京都土地利用現況調査（平成24年）